Jabra

# Jabra PRO™ 9450
# Jabra PRO™ 9450 Flex
# Jabra PRO™ 9450 Duo

取扱説明書

www.jabra.com

# ようこそ

Jabra PRO 9450 をご購入いただきありがとうございます。 本ヘッドセットならではの豊富な機能、快適な装着感、使いやすさをぜひお楽しみください。

**Jabra PRO 9450 ベースの特長**

- デスクホンとソフトホンに接続可能。
- ヘッドセット充電ドッキングクレードル。
- 通話操作に便利なキーパッド。
- ランプとオーディオインジケータ。

**Jabra PRO 9450 ヘッドセットの特長**

- 最大 120 m のヘッドセットからベースの動作範囲。
- ワイドバンドオーディオによる並外れた高音質。
- タッチセンサーを使った音量/ミュートコントロール。
- 直感的に通話が操作できるヘッドセットの多機能ボタン。
- LED とオーディオインジケータ。
- SafeTone™ による高度な聴覚保護。
- ノイズキャンセリングマイク。
- イヤーフックまたはヘッドバンドの装着スタイル（ネックバンドは別売アクセサリー）。

**Jabra PRO 9450 Flex ヘッドセット特有の特長**

- フレキシブルマイクブームアーム。

**Jabra PRO 9450 Duo ヘッドセット特有の特長**

- 左右の耳で装着できるヘッドバンド装着スタイルとフレキシブルマイクブームアーム。

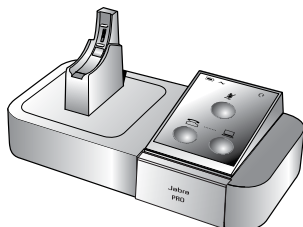
※国内仕様品は、Jabra PRO 9450 Flex 表記のものをご参照ください。

# 目次

1. 製品の概要 .......... 6
1.1 パッケージの内容 .......... 6
1.2 ヘッドセット .......... 7
1.3 ヘッドセットアタッチメント .......... 9
1.4 ベース .......... 11
1.5 ベースの準備 .......... 12
1.6 オプションアクセサリー (別売) .......... 12
2. 電話への接続 .......... 13
2.1 電源への接続 .......... 13
2.2 ヘッドセットのドッキング .......... 13
2.3 ソフトホン(PC)への接続 .......... 14
2.4 デスクホンの選択と接続 .......... 15
3. JABRA PRO 9450 の設定 .......... 17
3.1 デスクホンの設定 .......... 17
3.2 ソフトホンの設定 .......... 18
3.3 ベースでできる特定の設定 .......... 18
4. JABRA PC SUITE .......... 20
4.1 Jabra PC Suite のインストール .......... 20
4.2 PC Call Manager .......... 20
5. ヘッドセットとベースの機能 .......... 21
5.1 ヘッドセットの多機能ボタン .......... 21
5.2 ヘッドセットのタッチセンサー .......... 21
5.3 ヘッドセットの LED インジケータ .......... 22
5.4 ヘッドセットのオーディオインジケータ .......... 23
5.5 ベースキーパッド .......... 24
5.6 ベースキーパッドのランプ .......... 24
5.7 ベースのオーディオインジケータ .......... 24
6. 基本的な通話管理 .......... 25
6.1 デスクホン： 通話の発信、応答、終了 .......... 25

6.2 ソフトホン：通話の発信、応答、終了 ....................25
6.3 キャッチホン ....................25
6.4 通話の衝突 ....................26
**7. 高度な通話管理 .................... 27**
7.1 通話の結合 ....................27
7.2 複数のヘッドセットでの電話会議 ....................27
7.3 デスクホンとヘッドセット間の切り替え ....................28
7.4 最後にかけた番号へのリダイヤル（ソフトホンのみ） ....................28
7.5 通話切断防止（サポートされていないソフトホン用） ....................28
7.6 デスクホン通話の録音 ....................28
**8. 高度な JABRA PRO の機能 .................... 29**
8.1 Safetone™ 聴覚保護 ....................29
8.2 ワイヤレス動作範囲 ....................29
8.3 ワイドバンドオーディオ ....................29
8.4 音声通知 ....................29
8.5 サウンド設定 ....................29
8.6 PC で音楽またはオーディオを聴く ....................30
8.7 ファームウェアの更新 ....................30
8.8 盗難防止 ....................30
**9. FAQ とトラブルシューティング .................... 31**
**10. 技術仕様 .................... 33**
10.1 Jabra PRO ヘッドセット ....................33
10.2 Jabra PRO 9450 および Jabra PRO 9450 Flex ヘッドセット ....................33
10.3 Jabra PRO 9450 Duo ヘッドセット ....................33
10.4 ヘッドセットのバッテリー ....................33
10.5 Jabra PRO ベース ....................34
10.6 原材料とアレルギー ....................35
10.7 製品の廃棄について ....................35
10.8 認定と安全規格 ....................35

# 1. 製品の概要

## 1.1 パッケージの内容

## 1.2 ヘッドセット

**Jabra PRO™ 9450**

**Jabra PRO™ 9450 Flex**

多機能
ボタン

タッチセンサー

LED インジケータ

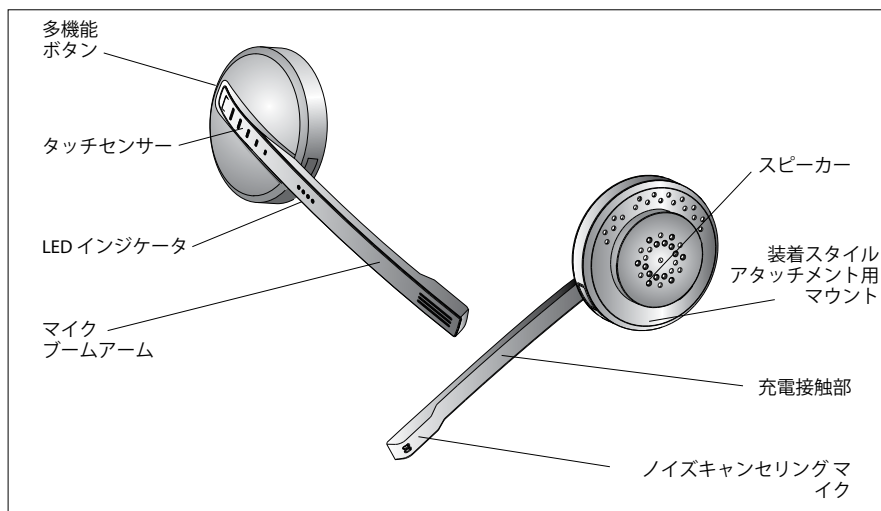
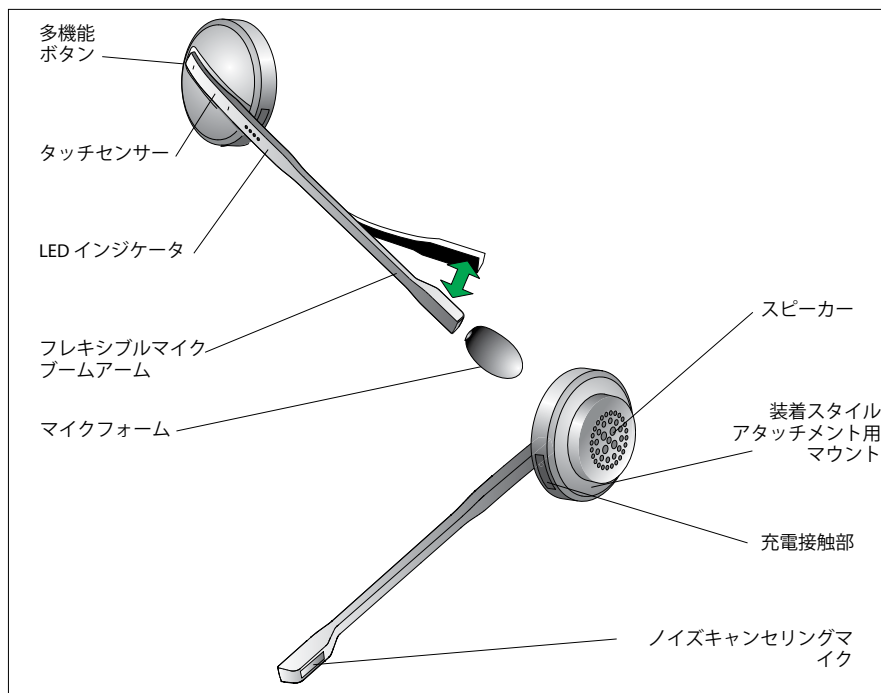
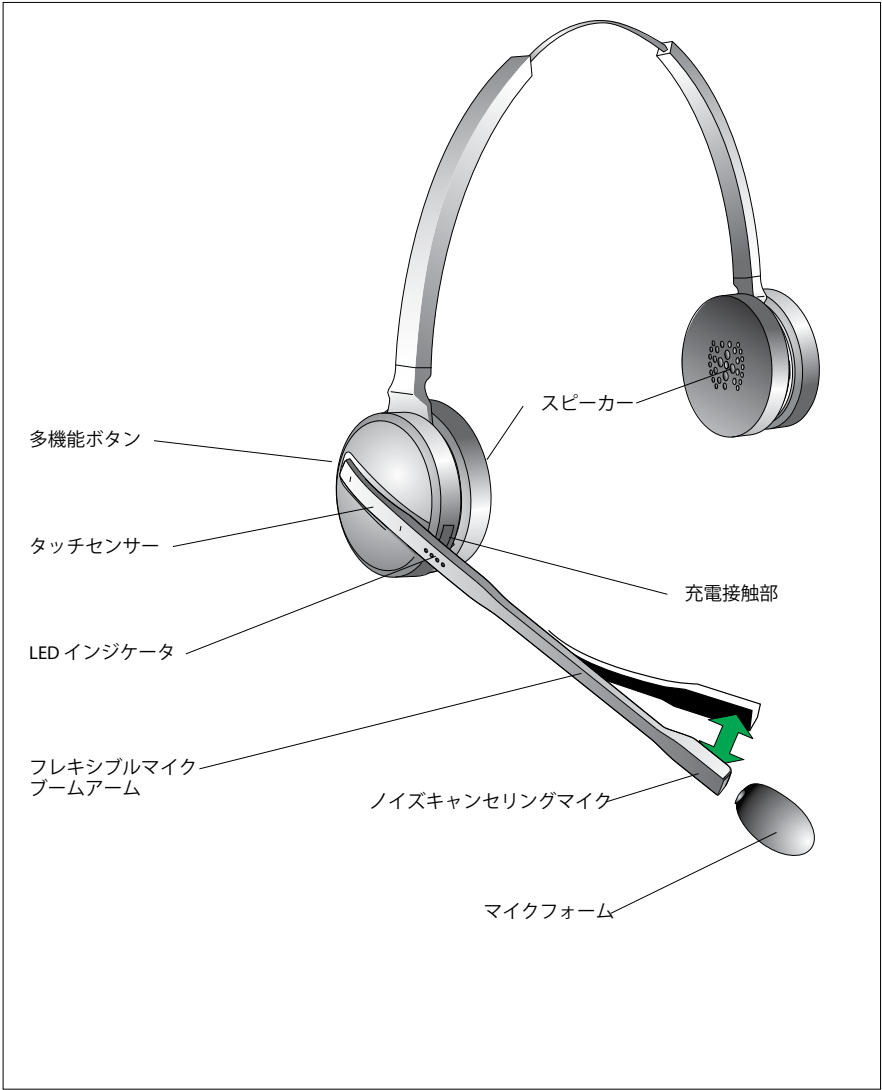
フレキシブルマイク
ブームアーム

マイクフォーム

スピーカー

装着スタイル
アタッチメント用
マウント

充電接触部

ノイズキャンセリングマ
イク

**Jabra PRO™ 9450 Duo**

## 1.3　ヘッドセットアタッチメント

Jabra PRO 9450 と Jabra PRO 9450 Flex のヘッドセットは、ヘッドバンド、イヤーフック、ネックバンドのいずれかの装着スタイルを使用して装着できます。 ヘッドバンドとイヤーフックのアタッチメントは製品に付属しています。 ネックバンドアタッチメントは別売りです。

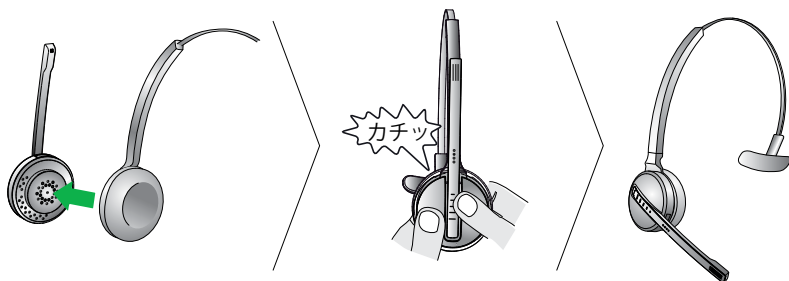
装着スタイルは左右どちらの耳でも使用できます。 選択する装着スタイルにかかわらず、ノイズキャンセリングの効果を最大に利用するためにマイクが口の近くになるようにしてください。

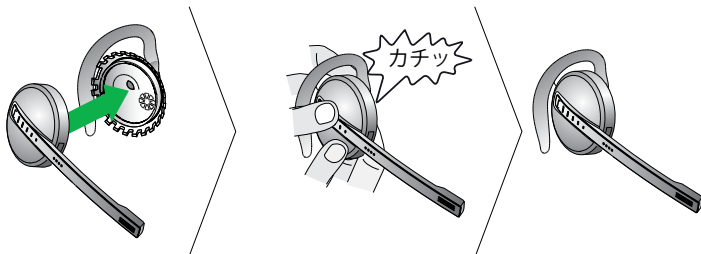
ヘッドバンド

ネックバンド

イヤーフック

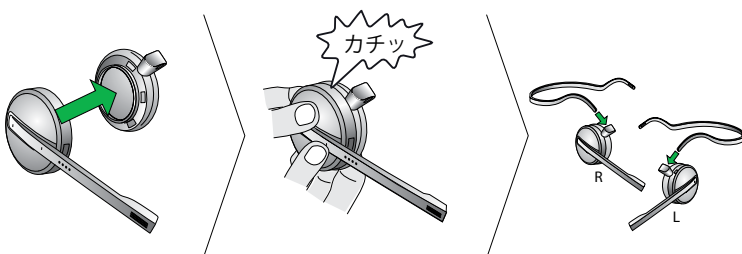
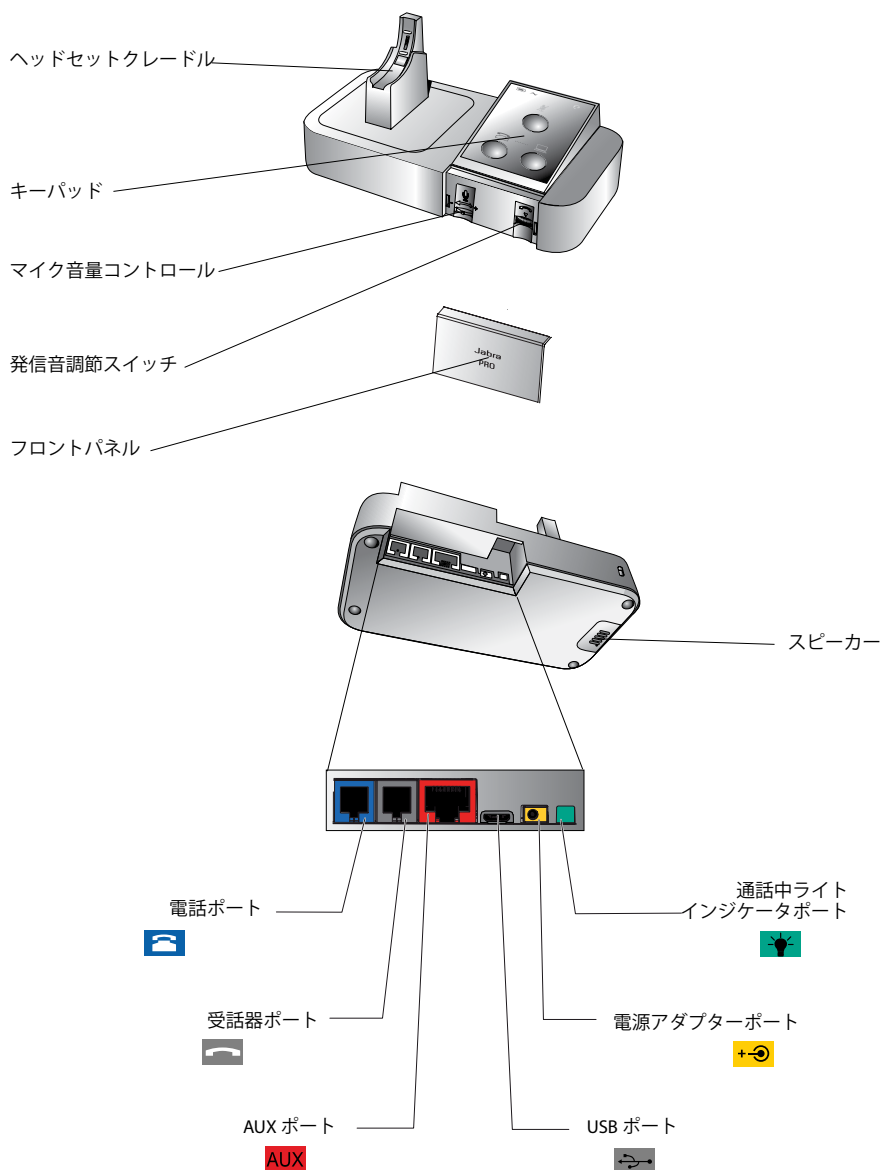
**ヘッドセットの取り付け**

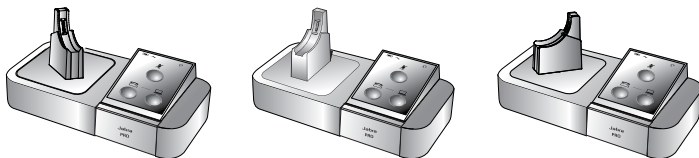
1. ヘッドセットとヘッドバンドの装着スタイルアタッチメントを図のように合わせ、カチッと音がして固定されるまで押し付けます。
2. 左耳または右耳での使用に合わせてマイクのブームアームを回します。
3. 頭にぴったり当たるようにヘッドバンドの長さを調整します。

**イヤーフックの取り付け**

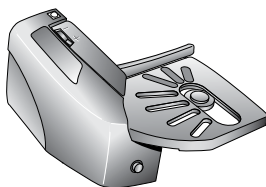
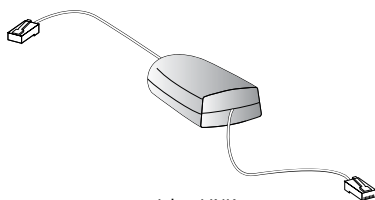
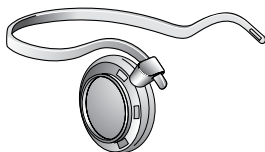
1. 左耳または右耳での使用に合わせてイヤーフックの装着スタイルアタッチメントを組み立てます。 必要に応じてイヤーバッドを取り外して、最適なサイズのものに交換します。
2. ヘッドセットとイヤーフックの装着スタイルアタッチメントを図のように合わせ、カチッと音がして固定されるまで押し付けます。
3. イヤーフックが耳に快適にフィットする形にします。

**ネックバンドの取り付け（別売アクセサリー）**

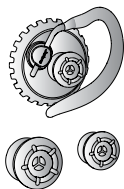
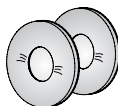
1. 左右のどちらの耳で使用するかを決め、図のようにネックバンドアタッチメントを組み立てます。
2. ヘッドセットとネックバンド装着スタイルアタッチメントを合わせ、カチッと音がして固定されるまで押し付けます。

## 1.4　ベース

ヘッドセットクレードル
キーパッド
マイク音量コントロール
発信音調節スイッチ
フロントパネル
Jabra PRO
スピーカー
電話ポート
受話器ポート
AUX ポート
AUX
通話中ライト
インジケータポート
電源アダプターポート
USB ポート

## 1.5　ベースの準備

1. クレードルとキーパッドから保護用のフォイルを外します。
2. （オプション）図のように右向きまたは左向きにドッキングするようにクレードルを回します。

## 1.6　オプションアクセサリー (別売）

次の Jabra PRO アクセサリーが個別に購入いただけます。

Jabra GN1000

Jabra LINK
（アダプターは図と異なる場合があります）

ネックバンドアタッ
チメント
Jabra PRO 9450 および
Jabra PRO 9450 Flex

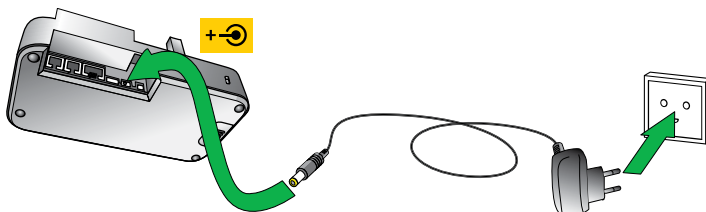
交換用ヘッドバンドアタッチメント
Jabra PRO 9450 および
Jabra PRO 9450 Flex

イヤーバッド付き交換用イヤーフック
Jabra PRO 9450 および
Jabra PRO 9450 Flex

交換用イヤークッション
Jabra PRO 9450 および
Jabra PRO 9450 Flex

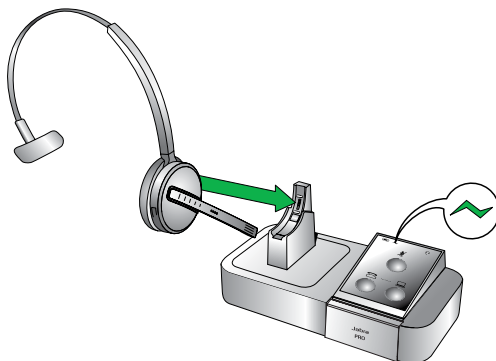
# 2.　電話への接続

Jabra PRO 9450 を最も簡単に接続および設定する方法は、jabra.com/setup からインタラクティブセットアップウィザードをダウンロードして使用する方法です。 このマニュアルの第 2 章と第 3 章はインタラクティブセットアップウィザードを使用しない場合に限って必要です。

## 2.1　電源への接続

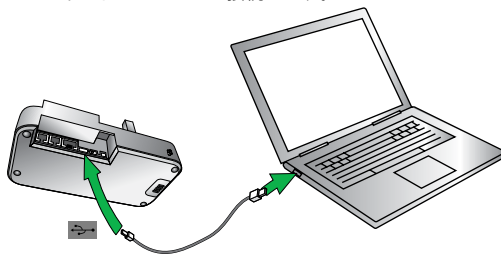
**電源アダプターをベースに接続します。**

1. 付属の電源アダプターをベースの +-⦿ が示されているポートに差し込みします。
2. 電源アダプターを電源ソケットに接続します。

## 2.2　ヘッドセットのドッキング

図のようにヘッドセットをドッキングします。 ヘッドセットが正しくドッキングされると、充電が必要な場合は、ヘッドセットバッテリーが充電を開始します。 Jabra PRO 9450 と接続している間、または使用していない間はヘッドセットをドッキングしておきます。

*注意： ヘッドセットの図は実際の製品とは異なる場合があります。*

## 2.3　ソフトホン（PC）への接続

**PC のベースへの接続**

1. 付属の USB ケーブルをベースの [USB] が示されているポートに差し込みます。
2. USB ケーブルを PC の空いている USB ポートに接続します。

## 2.4　デスクホンの選択と接続

次の 4 つのオプションから接続するデスクホンを選択します。

### オプション 1

**ヘッドセットポートのあるデスクホン**

この種類のデスクホンには、専用のヘッドセットポートがあります（通常は電話の背面）。通常、受話器とヘッドセット間を切り換えるためのボタンがフロントパネルにあります。

1. 付属の電話ケーブルをベースの が示されているポートに差し込みます。
2. 電話ケーブルをデスクホンのヘッドセットポート に接続します。

または

### オプション 2

**Jabra LINK（EHSアダプタ）対応のデスクホン**

Jabra LINK アダプターを使用すると、ヘッドセットの多機能ボタンで着信に応答したり、通話を終了したりできます。

特定のデスクホン用の Jabra LINK アダプターの購入については、最寄の Jabra 販売店にお問い合わせください。

1. Jabra LINK に付属のアダプターマニュアルを参照して Jabra LINK アダプターを接続します。 電話によっては電話ケーブルを接続する必要もあります。
2. 別の電話から、接続しているデスクホンに電話し、Jabra LINK アダプターを有効にします。 10 秒間待ってから電話に応答します。

または

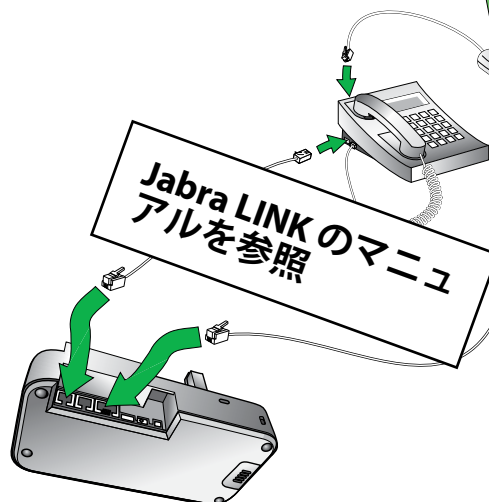


### オプション 3

**Jabra GN1000 リモートハンドセットリフターを使用する場合**

Jabra GN1000 リモートハンドセットリフターでは、デスクホンの受話器を手動で持ち上げて電話をかけたり、通話に応答したりできます。 取り付け方法については、Jabra GN1000 に付属のマニュアルを参照してください。

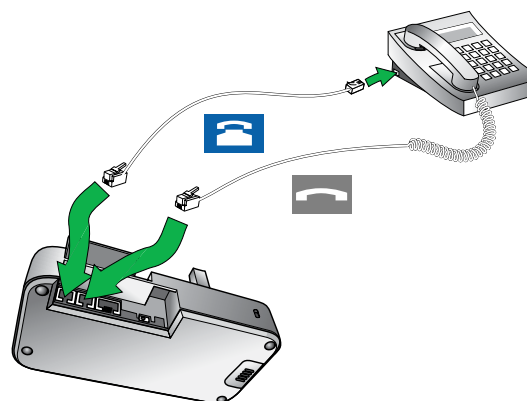
1. デスクホンの電話本体から受話器のケーブルを外します。
2. 受話器のケーブルをベースの が示されているポートに接続します。
3. 付属の電話ケーブルをベースの が示されているポートに差し込みます。
4. 電話ケーブルをデスクホンの受話器ポートに接続します。
5. Jabra GN1000 ケーブルをベースの AUX が示されているポートに接続します。

AUX

または

### オプション 4

**ヘッドセットポートのないデスクホン**

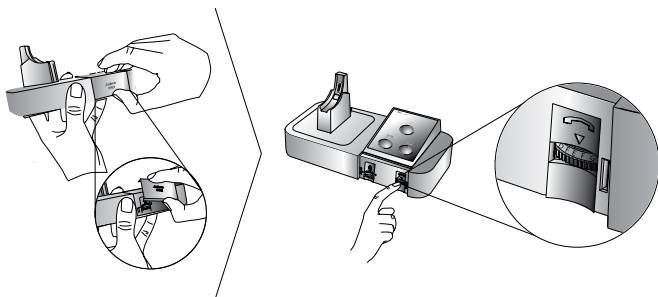
このデスクホンには専用のヘッドセットポートがありません。

1. デスクホンの電話本体から受話器のケーブルを外します。
2. 受話器のケーブルをベースの が示されているポートに接続します。
3. 付属の電話ケーブルをベースの が示されているポートに差し込みます。
4. 電話ケーブルをデスクホンの受話器ポートに接続します。

# 3. JABRA PRO 9450 の設定

## 3.1 デスクホンの設定

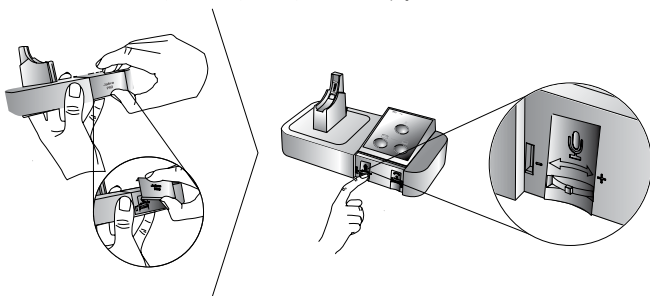
Jabra PRO 9450 をデスクホンと共に初めて使用する前に、発信音とマイク音量を最適な音質に設定する必要があります。 この両方の設定はベースで手動で調整します。

**発信音の設定**

1. 図のように Jabra PRO 9450 ベースのフロントパネルを取り外します。
2. ヘッドセットを装着します。 デスクホンのアイコンが に変わります。 アイコンが変わらない場合、ベースキーパッドのデスクホンボタンをタップします。
3. デスクホンの受話器を持ち上げて横に置くか、デスクホンのヘッドセットボタンを押します。
4. 図のように発信音調節スイッチを A から G に回し、ヘッドセットで発信音を聞きます。

5. 最も明瞭に聞こえる位置を決めます。 強く、明瞭で、ひずみがない発信音が聞こえるはずです。
6. デスクホンの受話器を元に戻すか、デスクホンのヘッドセットボタンを押します。
7. 終了したら、フロントパネルをベースに戻します。

発信音を変更する場合、その変更はデスクホンのみに適用されます。

**マイク音量の設定**

1. ヘッドセットがドッキングしていることを確認し、デスクホンアイコンが に変わるまで、ベースのキーパッドでデスクホンボタンを押し続けます。
2. 図のように Jabra PRO 9450 ベースのフロントパネルを取り外します。
3. ヘッドセットを装着します。 デスクホンのアイコンが に変わります。 アイコンが変わらない場合、ベースキーパッドのデスクホンボタンをタップします。

4. デスクホンのヘッドセットボタンを押すか、デスクホンの受話器を持ち上げて発信音を鳴らします。
5. **通話をテストします**。 デスクホンで友人または同僚の電話番号にダイヤルします。
6. 通話音量が大きすぎるか、小さすぎる場合、図のようにベースでマイク音量を調整します。 相手側では音量を調整しないようにします。
7. 調整できたら、通話を終了して Jabra PRO 9450 のフロントパネルを戻します。

マイク音量調節スイッチを変更する場合、その変更はデスクホンのみに適用されます。

## 3.2　ソフトホンの設定

1. jabra.com/setup から Jabra PC Suite をダウンロードしてインストールします。 詳細については、このマニュアルの Jabra PC Suite のセクションを参照してください。
2. ソフトホンソフトウェア（Microsoft Lync など）を開き、音声設定で Jabra PRO 9450 をスピーカーとマイクに設定します。音声設定の方法については、ご使用のソフトホンのマニュアルを参照してください。

サポートされているソフトホンの最新のリストについては、www.jabra.com/setup の Jabra の Web サイトを参照してください。

## 3.3　ベースでできる特定の設定

設定の変更には常に Jabra Control Center を使用することを推奨します。 ただし、6 つの設定についてはベースを使用して設定できます。

- リモート通話コントロールモード。
- IntelliTone レベル。
- DECT ワイヤレス最大動作範囲。
- デスクホンの音量調整。
- ソフトホンの 音量調整。
- ソフトホンの種類。

**ベースで行う設定変更**

1. 通話中でないことを確認します。
2. Jabra PRO 9450 ベースのフロントパネルを取り外します。
3. ベースのマイク音量調整スイッチの中央を押してセットアップモードに入ります。 ミュートインジケータがゆっくり点滅していれば、セットアップモードになっています。
4. 設定間を移動するには、キーパッドのデスクホンボタンをタップします。 最初の設定はリモート通話コントロールモードです。 現在の設定には、デスクホンアイコンが示されます。
5. 各設定の値間を移動するには、キーパッドのソフトホンボタンをタップします。 現在の値には、ソフトホンアイコンが示されます。

6. 終わったら、マイク音量調整スイッチの中央を押して設定を保存し、セットアップモードを終了します。 ベースが再起動します。

| アイコン | 設定 | アイコン | 値 |
| --- | --- | --- | --- |
| | リモート通話コントロールモード | | 自動検出（デフォルト） |
| | | | GN1000/RHL/なし |
| | | | Jabra IQ EHS |
| | | | Cisco |
| | | | DHSG |
| | | | MSH |
| | | | Siemens optiPoint |
| | IntelliTone レベル | | レベル 0 （デフォルト） |
| | | | レベル 1 |
| | | | レベル 2 |
| | | | レベル 3 |
| | | | レベル 4 |
| | DECT ワイヤレス最大動作範囲 | | 通常（デフォルト） |
| | | | 低 |
| | | | 超低 |
| | デスクホンのオーディオ | | ナローバンド（デフォルト） |
| | | | ワイドバンド |
| | ソフトホンのオーディオ | | ナローバンド |
| | | | ワイドバンド（デフォルト） |
| | ソフトホンの種類 | | Microsoft （デフォルト） |
| | | | Cisco、Avaya、Siemens、IBM、Aastra、Skype |
| | | | その他 |
| | | | なし（PC オーディオ） |

# 4. JABRA PC SUITE

Jabra PC Suite は Jabra PRO 9450 をサポートするためのソフトウェアを集めたものです。 Jabra PRO 9450 を最適な機能で使用し、管理するには、Jabra PC Suite をインストールすることをお勧めします。

Jabra PC Suite には次が含まれます。

**PC Call Manager**
PC から通話を管理し、Jabra PRO 9450 のステータスを示します。

**Jabra Control Center**
Jabra PRO 9450 の設定管理と監視を行います。

**Jabra Device Service**
Jabra PRO 9450 と、Jabra Control Center、PC Call Manager、ソフトホンドライバーそれぞれの間の操作を管理します。

**Jabra Firmware Updater**
Jabra PRO 9450 ファームウェアを更新します。

**オンラインヘルプ**
Jabra PC Suite と Call Manager のヘルプセクション。

Jabra PC Suite には、種々のソフトホンのドライバーも含まれています。 サポートされているソフトホンのリストについては、www.jabra.com/pcsuite を参照してください。

## 4.1 JABRA PC SUITE のインストール

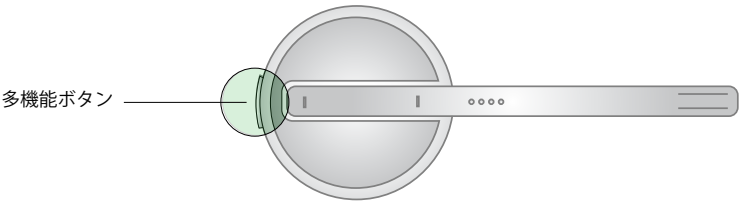
Jabra PC Suite をインストールするには、www.jabra.com/setup から最新バージョンをダウンロードし、インストーラを実行します。

## 4.2 PC CALL MANAGER

PC Call Manager は、PC でタッチスクリーンによる通話処理機能の一部をレプリケートするソフトウェアで、これにより、ユーザーは PC を使用して電話をかけたり、通話に応答したり、通話を結合したりできます。 PC Call Manager は Jabra PC Suite の一部としてインストールされています。

# 5. ヘッドセットとベースの機能

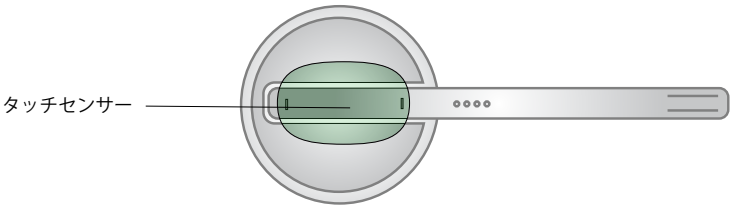
## 5.1 ヘッドセットの多機能ボタン

多機能ボタンはヘッドセットの上部にあり、ターゲット電話機の通話を管理します。 タップ、ダブルタップ、押す、の操作を組み合わせて通話への応答と終了、保留している通話間の切り替えなどができます。

*注意： ヘッドセットの図は実際の製品とは異なる場合があります。*

**ヘッドセットの多機能ボタン機能のリスト**

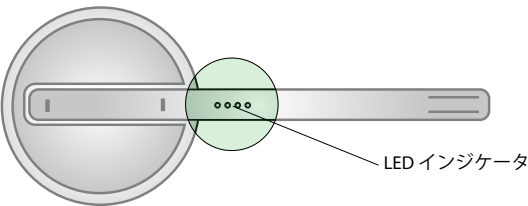
| 機能 | タップ | ダブルタップ | 押す<br>(1 ～ 2 秒間押す) |
|---|---|---|---|
| 着信への応答 | ✓ | | |
| 現在の通話の終了 | ✓ | | |
| 現在の通話を保留にし、着信に応答する | | | ✓ |
| ターゲット電話機の電話回線を開く | ✓ | | |
| 着信の拒否 | | ✓ | |
| 最後にかけた番号へのリダイヤル<br>（携帯電話とサポートされているソフトホンのみ） | | ✓ | |
| ターゲット電話機間の切り替え | | | ✓ |
| ヘッドセットの電源投入 | ✓ | | |
| ヘッドセットの電源切断 | | | ✓ （5 秒） |

## 5.2 ヘッドセットのタッチセンサー

タッチセンサーはタッチ感知式のパネルで、ヘッドセットのマイクアームにあります。 タッチセンサーは、ヘッドセットのスピーカー音量とマイクのミュート/ミュート解除をコントロールします。 スピーカー音量への変更は、デスクホンまたはソフトホンに個別に適用されます。

*注意： ヘッドセットの図は実際の製品とは異なる場合があります。*

| スピーカー音量を上げる | スピーカー音量を下げる | マイクのミュート/ミュート解除 |
|---|---|---|
| タッチセンサー上で指を上に滑らせる<br>（口から遠ざかる） | タッチセンサー上で指を下に滑らせる<br>（口に近づく） | ダブルタップ |

## 5.3　ヘッドセットの LED インジケータ

マルチカラー LED インジケータはヘッドセットのアームにあり、ヘッドセットのステータスを示します。

*注意： ヘッドセットの図は実際の製品とは異なる場合があります。*

| ヘッドセットの状態 | バッテリーがフルの場合の LED (クリックして再生) | バッテリーが低の場合の LED (クリックして再生) |
|---|---|---|
| 待機 | ○○○○ | ○○○○ |
| 未接続 | ○○○○ | ○○○○ |
| 使用圏外 | ○○○○ | ○○○○ |
| 通話中 | ○○○○ | ○○○○ |
| 呼び出し中 | ○○○○ | ○○○○ |
| 電源オン | ○○○○ | ○○○○ |
| 電源オフ | ○○○○ | ○○○○ |
| ペアリング | ○○○○ | ○○○○ |
| ペアリングに成功 | ○○○○ | ○○○○ |
| 充電中 | ○○○○ | |

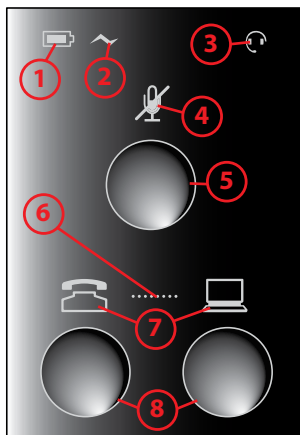
## 5.4　ヘッドセットのオーディオインジケータ

ヘッドセットはさまざまな音を鳴らしてイベントを知らせます。

| 音 | 音サンプル（クリックして試聴） |
| --- | --- |
| 電源オン | |
| 電源オフ | |
| ボタンのタップ | |
| ボタンのダブルタップ | |
| ボタンを押す | |
| 最大スピーカー音量に到達 | |
| 最小スピーカー音量に到達 | |
| マイクミュート | |
| デスクホンへの着信 | |
| ソフトホン（PC）への着信 | |
| 携帯電話への着信 | |
| 通話中の別の電話への着信（通話の衝突） | |

| 音 | 音サンプル（クリックして試聴） |
| --- | --- |
| ターゲット電話機をデスクホンに変更（音声） | |
| ターゲット電話機をデスクホンに変更（トーン） | |
| ターゲット電話機をソフトホンに変更（音声） | |
| ターゲット電話機をソフトホンに変更（トーン） | |
| ターゲット電話機を携帯電話に変更（音声） | |
| ターゲット電話機を携帯電話に変更（トーン） | |
| 通話の終了 | |
| 低バッテリー | |
| 会議開始 | |
| 会議終了 | |
| 使用圏外 | |
| 着信への応答 | |

## 5.5　ベースキーパッド

Jabra PRO のベースキーパッドはヘッドセットと通話ステータスに関する情報を表示し、通話を操作するためのコントロールがあります。 ターゲット電話機の変更、着信への応答、現在の通話の終了、ベース設定、現在のターゲット電話機とのオーディオリンクの確立を行うことができます。

1　**バッテリーアイコン：** 現在のバッテリー残量を示します。
2　**ヘッドセットドッキングアイコン：** ヘッドセットがドッキングしていることを示します。
3　**オーディオリンクアイコン：** ベースとヘッドセット間のオーディオリンクが有効であることを示します。
4　**ミュートアイコン：** ヘッドセットマイクがミュートされていることを示します。
5　**ミュートボタン：** ヘッドセットマイクをミュートまたはミュート解除します。
6　**グループ通話アイコン：** デスクホンとソフトホンの通話が結合されていることを示します。
7　**電話状態アイコン：** デスクホンまたはソフトホンの通話の状態を示します。
8　**電話ボタン：** デスクホンやソフトホンの通話操作に使用されます。

## 5.6　ベースキーパッドのランプ

| アイコン | イベント |
|---|---|
| | バッテリー充電中 |
| | フル充電 |
| | 低バッテリー |
| | まもなくバッテリー切れ |
| | ヘッドセットドッキング状態 |
| | 不明ヘッドセットがドッキング |
| | ヘッドセットとベースのペアリング |
| | ミュート済み |

| アイコン | イベント |
|---|---|
| | 現在のターゲット電話機 |
| | 電話呼び出し中 |
| | 通話中の電話 |
| | 保留中の電話 |
| | 電話未接続 |
| •••••••• | グループ通話 |
| | ヘッドセットとベース間のオーディオリンクが有効 |
| | ヘッドセットの検出中 |

## 5.7　ベースのオーディオインジケータ

ベースのスピーカーはベース下部にあり、2 つの特殊な音を鳴らします。

**着信音**

着信音の音量は Jabra Control Center で調整します。

1. Jabra Control Center を開き、[Desk phone] または [Softphone] タブを選択します。
2. [Base speaker ring tone level] のスライダーを希望する設定にスライドさせ、[Apply] をクリックします。

**キーパッドボタンのクリック**

キーパッドボタンにタップ、ダブルタップ、押す、の操作をすると、クリック音が再生されます。 キーパッドボタンの音量は Jabra Control Center で調整します。 デフォルト設定は [off] です。

1. Jabra Control Center を開き、[Desk phone] または [Softphone] タブを選択します。
2. 4 つの事前に設定されているキーパッドクリック設定（*off*、*low*、*medium*、*high*）から 1 つを選択し、[Apply] をクリックします。

# 6. 基本的な通話管理

## 6.1 デスクホン： 通話の発信、応答、終了

| | Jabra Link または GN1000 リモートハンドセットリフターのある電話 | Jabra Link または GN1000 リモートハンドセットリフターのない電話 |
|---|---|---|
| | 必要であれば、デスクホンアイコンが白色に変わるまで、ベースのデスクホンボタンを押し続けて、デスクホンをターゲット電話機として設定します。 | |
| 通話の発信 | 1. ヘッドセットをドッキングクレードルから持ち上げるか、多機能ボタンをタップするか、ベースのデスクホンボタンをタップします。<br>2. デスクホンで番号をダイヤルします。 | 1. ヘッドセットをドッキングクレードルから持ち上げるか、多機能ボタンをタップするか、ベースのデスクホンボタンをタップします。<br>2. デスクホンの受話器を持ち上げ、横に置きます。<br>3. デスクホンで番号をダイヤルします。 |
| 通話への応答 | ヘッドセットをドッキングクレードルから持ち上げるか、多機能ボタンをタップするか、ベースのデスクホンボタンをタップします。 | 1. ヘッドセットをドッキングクレードルから持ち上げるか、多機能ボタンをタップするか、ベースのデスクホンボタンをタップします。<br>2. デスクホンの受話器を持ち上げ、横に置きます。 |
| 通話の終了 | ヘッドセットをドッキングするか、多機能ボタンをタップするか、ベースのデスクホンをタップします。 | 1. ヘッドセットをドッキングするか、多機能ボタンをタップするか、ベースのデスクホンをタップします。<br>2. デスクホンの受話器をレシーバーに戻します。 |

## 6.2 ソフトホン： 通話の発信、応答、終了

| | サポートされているソフトホン： |
|---|---|
| 通話の発信 | サポートされるソフトホンを使用して番号をダイヤルします。 ベースは自動的にソフトホンに切り替わります。 |
| 通話への応答 | ヘッドセットをドッキングクレードルから持ち上げるか、多機能ボタンをタップするか、ベースのソフトホンボタンをタップします。 |
| 通話の終了 | ヘッドセットをドッキングするか、多機能ボタンをタップするか、ベースのソフトホンボタンをタップします。 |

## 6.3 キャッチホン

キャッチホンは、現在のソフトホン通話を保留にして、着信しているソフトホン通話に応答できる機能です（ソフトホンのみでサポート）。 キャッチホン機能については、ご使用のソフトホンのマニュアルを参照してください。

キャッチホンは、ヘッドセットまたはベースで操作できます。

| | ヘッドセットの多機能ボタン | ベースのソフトホンキーパッドボタン |
|---|---|---|
| 着信に応答し、現在の通話を保留にする | 押す（1 ～ 2 秒） | 押す（1 ～ 2 秒） |
| 着信に応答し、現在の通話を終了する | タップ | タップ |
| 着信を拒否し、現在の通話を続ける | ダブルタップ | ダブルタップ |
| 現在の通話と保留中の通話間を切り替える | 押す（1 ～ 2 秒） | 押す（1 ～ 2 秒） |

## 6.4　通話の衝突

通話の衝突は、電話での通話中に、別の電話に着信があると起こります（例： ソフトホンで通話中に、同じベースに接続されているデスクホンに着信がある場合）。

通話の衝突は、ヘッドセットまたはベースで処理できます。

| | **ヘッドセットの多機能ボタン** | **ベースのキーパッド電話ボタン** |
|---|---|---|
| 着信に応答し、現在の通話を保留にする | 押す（1 ～ 2 秒） | 着信している通話の電話ボタンをタップ |
| 着信に応答し、現在の通話を終了する | タップ | 現在の通話の電話ボタンをタップしてから着信している通話の電話ボタンをタップ |
| 着信を拒否し、現在の通話を続ける | ダブルタップ | 着信している通話の電話ボタンをダブルタップ |

保留中の通話間を切り換えるには、多機能ボタンを押すか、ベースキーパッドの保留通話の電話ボタンをタップします。

# 7.　高度な通話管理

## 7.1　通話の結合

デスクホンとソフトホンの通話を結合してグループ通話にすることができます。 グループ通話には、発信通話を現在の通話に結合するか、着信を現在の通話に結合するかの 2 通りの方法があります。 両方の通話の結合方法を次に説明します。

**発信通話を現在の通話に結合**

| デスクホン | ソフトホン |
|---|---|
| 1. デスクホンで通話中に、ソフトホンで新しい番号にダイヤルします。 デスクホン通話は保留になります。<br>2. ベースでデスクホンとソフトホンのボタンを同時に 1 〜 3 秒間押して、通話を結合します。 通話が結合されると、グループ通話インジケータが緑色に変わります。 | 1. ソフトホンで通話中に、ベースのデスクホンボタンをタップします。 ソフトホン通話は保留になります。<br>2. デスクホンで新しい番号にダイヤルします。<br>3. ベースでデスクホンとソフトホンのボタンを同時に 1 〜 3 秒間押して、通話を結合します。 通話が結合されると、グループ通話インジケータが緑色に変わります。 |

**着信通話を現在の通話に結合**

| デスクホン | ソフトホン |
|---|---|
| 1. デスクホンで通話中に、ソフトホンボタンをタップして着信に応答します。 デスクホン通話は保留になります。<br>2. ベースでデスクホンとソフトホンのボタンを同時に 1 〜 3 秒間押して、通話を結合します。 通話が結合されると、グループ通話インジケータが緑色に変わります。 | 1. ソフトホンで通話中に、デスクホンボタンをタップして着信に応答します。 ソフトホン通話は保留になります。<br>2. ベースでデスクホンとソフトホンのボタンを同時に<br>1 〜 3 秒間押して、通話を結合します。 通話が結合されると、グループ通話インジケータが緑色に変わります。 |

**通話の結合解除/再結合**

通話を結合解除または再結合するには、ベースキーパッドでデスクホンとソフトホンのボタンを同時に 1 〜 3 秒間押します。

**結合されている通話の終了**

グループ通話の中の選択した通話を終了するには、ベースキーパッドで該当するデスクホンまたはソフトホンのボタンをタップします。 その参加者のグループ通話が終了します。

全参加者のグループ通話を終了するには、ヘッドセットをドッキングするか、多機能ボタンをタップします。

## 7.2　複数のヘッドセットでの電話会議

Jabra PRO 9450 では、会議のためにベースに最大 3 台の Jabra PRO ヘッドセットを追加して接続できます。
2 台以上の追加ヘッドセットがベースに接続されると、オーディオはワイドバンドからナローバンドにフィルタリングされます。

**追加ヘッドセットの接続**

1. 一次ヘッドセットをドッキングしないで通話している間に、そのベースに二次ヘッドセットをドッキングします。 ペアリングには数秒かかり、その間インジケータが黄色で点滅します。 ヘッドセットが正しくペアリングされると、一次ヘッドセットで音が 2 回鳴ります。
2. 一次ヘッドセットで多機能ボタンをタップして二次ヘッドセットを許可します。 これで、音声がヘッドセット間で共有されるようになります。
3. 必要に応じて追加するヘッドセットにこの手順を繰り返して接続します。

**会議の終了または退出**

一次ヘッドセットユーザーは、通話を終了して会議を終了できます。 すべてのヘッドセットの通話が終了します。

ゲストは、自分のヘッドセットの多機能ボタンをタップするか、ヘッドセットをベースにドッキングすると会議から退出できます。 電話会議は他のヘッドセット間で続けられます。

**会議機能からの復帰**

ゲストとして、会議に参加した後、自分のベースに再度接続するには、ヘッドセットをベースにドッキングさせ、しばらく待ちます。その後、リンクインジケーターが点灯します。

これで、自分のベースユニットとの接続が回復します。

**全日会議モード**

全日会議モードを有効にすると、通話が終了しても電話会議は終了しません。 会議を終了するには、一次ヘッドセットをドッキングする必要があります。

1. Jabra Control Center を開いて、[Headset] タブを選択します。
2. [End headset conference when call ends] を選択解除します。

## 7.3　デスクホンとヘッドセット間の切り替え

電話で通話中に、通話を中断することなく、電話とヘッドセットを切り替えることができます。

**デスクホン**

*デスクホンからヘッドセットへの切り替え*

1. 必要であれば、ベースのデスクホンボタンを押して、デスクホンをターゲット電話機として設定します。
2. ヘッドセットをドッキングクレードルから持ち上げます。
3. 通話が終了してしまうので、デスクホンの受話器はレシーバーに戻しません。

*受話器からデスクホンへの切り替え（電子フックスイッチまたはハンドセットリフターを使用しない）*

1. デスクホンの受話器を上げます。
2. ヘッドセットをドッキングするか、多機能ボタンをタップするか、ベースのデスクホンボタンをタップします。

*受話器からデスクホンへの切り替え（電子フックスイッチまたはハンドセットリフターを使用）*

1. デスクホンの受話器を上げます。
2. ご使用のデスクホンのマニュアルを参照してください。 デスクホンのボタンを押すことが必要になる場合と、自動的に行われる場合があります。

**PC**

ソフトホンには、ヘッドセットしか使えないことがほとんどですが、Windows やソフトホンのオーディオ設定を変更して、PC に接続されている他のオーディオデバイスに変更することができます。

## 7.4　最後にかけた番号へのリダイヤル（ソフトホンのみ）

Jabra PRO 9450 では、最後にかけた番号にリダイヤルできます（ソフトホンのみでサポート）。 最後にかけた番号へのリダイヤル機能については、ご使用のソフトホンのマニュアルを参照してください。

**最後にかけた番号へのリダイヤル**

1. 必要であれば、ベースのソフトホンボタンを押して、ソフトホンをターゲット電話機として設定します。
2. ヘッドセットの多機能ボタンをダブルタップして、最後にかけた番号にリダイヤルします。

## 7.5　通話切断防止（サポートされていないソフトホン用）

サポートされていないソフトホンを使用した通話中または Web 会議中に、デスクホンまたは携帯電話に着信があると、ソフトホンでの通話または Web 会議は自動的に切断されます。 切断を防止するには、ソフトホンで通話または Web 会議を開始する前に、ベースキーパッドでソフトホンボタンをダブルタップします。

サポートされているソフトホンの最新のリストについては、www.jabra.com/pcsuite の Jabra の Web サイトを参照してください。

## 7.6　デスクホン通話の録音

デスクホン通話は、Windows Sound Recorder など、他社のソフトウェアを使用して PC に録音できます。 デスクホン通話を録音するには、Jabra Control Center で通話録音が有効になっている必要があります。

**通話録音を有効にする**

1. Jabra Control Center を開き、[Audio] タブを選択します。
2. [Forward desk phone call to PC for recording] を選択して、[Apply] をクリックします。

これでデスクホン通話は、他社のソフトウェアを使用して PC に録音できます。

**注：** 秘密のうちに会話を録音することは違法である場合があります。 必ず、最初に許可を得てから会話を録音してください。

# 8. 高度な JABRA PRO の機能

## 8.1 SAFETONE™ 聴覚保護

SafeTone™ は音響衝撃やノイズ暴露などの危険性から有効に聴覚を保護します。
SafeTone™ は PeakStop™ と IntelliTone™ の 2 つのコンポーネントで構成されています。

**PeakStop™ 音響衝撃保護**

PeakStop™ は 118dB(A) を超える音を自動的に遮断することによって、音響衝撃から聴覚を保護します。
PeakStop™ は Jabra 以外にはない機能です。

**IntelliTone™ ノイズ暴露保護**

IntelliTone™ では、音響衝撃とノイズ暴露に対する 4 レベルの保護が用意されています。 IntelliTone™ 設定は、Jabra Control Center の [Audio] タブで変更できます。 IntelliTone™ は Jabra 以外にはない機能です。

| 保護レベル | 基準 |
|---|---|
| レベル 0 （デフォルト） | 基本保護（118dB(A) を超える） |
| レベル 1* | 1 日あたりの電話使用時間が 4 時間未満 |
| レベル 2* | 1 日あたりの電話使用時間が 4 ～ 8 時間 |
| レベル 3* | 1 日あたりの電話使用時間が 8 時間を超える |
| レベル 4 (TT4) | オーストラリア政府による勧告保護レベル (Telstra) |

* 欧州議会/理事会の 2003 年 2 月 6 日付指令 2003/10/EC に準拠しています。

## 8.2 ワイヤレス動作範囲

Jabra PRO 9450 は最大 120 m のワイヤレス動作範囲をサポートしています。 物理的な障害物や電磁干渉のため、これより多少小さくなる場合があります。

ヘッドセットの音質は、ヘッドセットがベースから離れるほど徐々に低下することや、ヘッドセットがベースに近づくと向上することもあります。 ヘッドセットが完全に動作範囲外にある場合、ヘッドセットから独特の音（下降する 3 音が素早く連続して鳴る）が数秒間隔で鳴ります。

ヘッドセットで通話中に動作範囲外に出ると、音が聞こえなくなりますが、通話は 120 秒間はベースにつながっています。 通話の音声を復帰させるには、ベースの動作範囲内にヘッドセットを戻します。

ヘッドセットが 1 時間を越えてベースの動作範囲外にある場合、バッテリーを節約するためにヘッドセットの電源が切れます。

## 8.3 ワイドバンドオーディオ

Jabra PRO 9450 では、ワイドバンドオーディオとナローバンドオーディオの両方がサポートされています。 ワイドバンドオーディオでは、バッテリーの持続時間は短くなりますが、よい音質が得られます。

ナローバンドはデスクホンのデフォルト選択です。 ワイドバンドはソフトホンのデフォルト選択です。

**ワイドバンドオーディオ設定の変更**

1. Jabra Control Center を開き、[Audio] タブを選択します。
2. [Enable wideband audio for] で該当するチェックボックスを選択して、[Apply] をクリックします。

## 8.4 音声通知

デスクホンとソフトホン間で切り替えが行われた際に、英語音声または音楽のどちらで通知されるかを選択します。

**音声/トーン設定の選択**

1. Jabra Control Center を開いて、[Headset] タブを選択します。
2. [Target change indication] で該当する設定を選択して、[Apply] をクリックします。

## 8.5 サウンド設定

すべてのサウンドに用意されている、[Treble]、[Normal] （デフォルト）、[Bass] の 3 つのイコライザープリセットから選択します。

**トーン設定の選択**

1. Jabra Control Center を開き、[Audio] タブを選択します。
2. [Tone setting] で該当する設定を選択して、[Apply] をクリックします。

## 8.6　PC で音楽またはオーディオを聴く

PC で音楽またはオーディオを聴くには、Jabra PRO ベースと PC の間でオーディオリンクが開いている必要があります。 オーディオリンクが開いていて、通話中でないとき、PC で再生されている音楽やオーディオ（メディアプレーヤーからの音楽を含む）がヘッドセットで再生されます。

**ベースと PC 間のオーディオリンクの開閉**

1. Jabra Control Center を開きます。
2. 一番上のツールバーで [open/close audio link] ボタンをクリックします。

または、Windows タスクバーで Jabra アイコンを右クリックし、[Open Audio Link] または [Close Audio Link] を選択します。

## 8.7　ファームウェアの更新

ファームウェアの更新によって、Jabra PRO 9450 のパフォーマンスを向上させたり、新機能を追加したりします。

**ファームウェアの更新**

- Jabra PC Suite と共にインストールされている Jabra Firmware Updater を開き、Firmware Updater ウィザードに従います。または
- Jabra Control Center > [Help] > [Check for Updates] を選択して最新バージョンを確認します。

## 8.8　盗難防止

ベースにはセキュリティケーブルを取り付けるためのケンジントンセキュリティスロットがあります。ベースをデスクに固定するには、ケンジントンセキュリティスロット規格に適合したセーフティケーブルを購入し、ケーブルに付属の説明書の指示に従ってください。

# 9. FAQ とトラブルシューティング

**Q ベースキーパッドのデスクホン/ソフトホン状態アイコンが淡色表示になっています。 どういう意味ですか。**

A 電話が現在のターゲットになっていないか、接続されていません。

**Q ヘッドセットと Jabra PRO 9450 ベースはどのようにペアリングしますか。**

A ヘッドセットをベースにドッキングしてペアリングを開始します。 ベースが一次ヘッドセットとのリンクを確立できなければ、ペアリングは自動的に行われます。

**Q ヘッドセットを Jabra PRO 9400 シリーズの別のベースにドッキングすることはできますか。**

A はい。 ヘッドセットは Jabra PRO 9400 シリーズのどのベースにもドッキングできます。

**Q ヘッドセットを他社の DECT 電話と直接ペアリングできますか。**

A いいえ。 ヘッドセットは Jabra PRO 9400 シリーズのベースとしかペアリングできません。

**Q コンピュータが Jabra PRO 9450 ベースを検出しません。**

A ベースを PC の別の USB ポートに接続してみてください。 ベースと USB ポートは直接接続（USB ハブを使用しない）することが推奨されています。

**Q ヘッドセットがデスクホン/ソフトホンで使用できません。**

A 以下を確認してください。
- ヘッドセットのバッテリーが充電されていること。 キーパッドバッテリーアイコンは充電中は緑色で、
  充電済みの場合は黄色です。
- ヘッドセットがベースの動作範囲にあること。 環境によって異なりますが、最大 120 m です。
- ヘッドセットとベースがペアリングされていること。 ヘッドセットをドッキングしてペアリングを始めます。

**Q デスクホンを使おうとしても何も起こりません。**

A 以下を確認してください。
- ベースの電源が入っていること。
- デスクホンが現在のターゲットであること。 キーパッドのデスクホンアイコンは白色になります。
- デスクホンとベース間にオーディオ接続があること。
  キーパッドのデスクホンボタンをタップしてオーディオ接続を確立します。
- 発信音が聞こえること。 デスクホンの受話器を持ち上げるか、デスクホンのヘッドセットボタンを押し、
  発信音を鳴らします。
- インタラクティブセットアップウィザードのデスクホンセクションを再度実行します。

**Q 通話相手が無音状態のときにヘッドセットから低音のノイズが聞こえます。**

A ヘッドセットのスピーカー音量が大きすぎる可能性があります。 音量を下げるには、ヘッドセットのタッチセンサーで指を下に滑らせます。

**Q デスクホンでの通話中に、通話相手にこちらの音声が聞こえません。**

A 発信音またはマイク音量設定が正しく設定されていない可能性があります。 インタラクティブセットアップウィザードのデスクホンセクションを再度実行するか、このマニュアルのセクション 3 を参照してください。

**Q ヘッドセットでバズ音が聞こえます。**

A デバイスが正しくセットアップされている場合は、ご使用の電話がヘッドセットで使用される無線信号の影響を受けている可能性があります。 この問題を解決するには、ヘッドセットベースを電話から 30 cm 以上離してください。 または、ご使用のユニットのワイヤレス動作範囲を小さくしてください。

**Q PC からの音や音楽がヘッドセットを通して聞こえません。**

A 以下を確認してください。
- Jabra PRO 9450 が、Windows のサウンドのコントロール パネルとご使用のソフトホンソフトウェアで現在のオーディオデバイスとして設定されていること。
- PC との間のオーディオリンクが有効であること。 Windows のタスクバーで Jabra Device アイコンを右クリックして、[Open Audio Link] を選択します。

**Q デスクホンで電話をかけようとすると、Jabra GN1000 RHL が持ち上がりますが、通話は確立されません。**

A ベースがデスクホンのヘッドセットポートではなく受話器ポートに接続されていること。
Jabra GN1000 をヘッドセットポートに接続して使用することはできません。

**Q ハンドセットリフターを使用せずに、デスクホンで通話と応答を自動化することは可能ですか。**

A はい。お使いのデスクホンに電子フックスイッチが搭載されている場合は可能です。 電話との互換性については、サプライヤーに問い合わせるか、www.jabra.com のサポートセクションを参照してください。

**Q ヘッドセットをドッキング解除すると、ソフトホンに自動的に発信音を発するようにセットアップすることはできますか。**

A はい。Jabra PRO 9450 はヘッドセットをドッキング解除すると、ターゲットのデスクホンまたはソフトンホンで自動的に発信音を発するように設定することができます 自動発信音はデスクホンとソフトホンに個別に設定できます。 この機能は、デスクホンにはデフォルトで有効になっており、ソフトホンにはデフォルトで無効になっています。

1. Jabra Control Center を起動して、[Desk phone] タブを選択します。
2. [Open link when headset is undocked] 設定を選択または選択解除して、[Apply] をクリックします。

**Q デスクホンの電子フックスイッチがヘッドセットでは動作しません。**

A ご使用のデスクホンのマニュアルで互換性と設定を確認してください。 または www.jabra.com/PRO9400 を参照してください。

**Q Jabra PRO 9450 を使用して通話を盗聴することはできますか。**

A 不正アクセスの可能性は制限されています。 Jabra PRO 9450 では 64 ビット暗号化を使用しています。

**Q Jabra PRO 9450 の動作範囲はどの程度ですか。**

A Jabra PRO 9450 は 120m までの最大動作範囲（ベースからヘッドセット）をサポートしています。 範囲は、ヘッドセットの使用環境により異なります。

**Q 複数のヘッドセットを使用して電話会議を行うことができますか。**

A はい。Jabra PRO ベースは一次ヘッドセット 1 台と二次ヘッドセット 3 台の合計 4 台のヘッドセットとペアリングできます。

**Q ベースから離れる際に電力を節約するためにヘッドセットをオフにできますか。**

A はい。 ヘッドセットの多機能ボタンを 5 秒間押し続けるとヘッドセットの電源がオフになります。 ヘッドセットの電源を再び入れるには、ヘッドセットをベースにドッキングするか、多機能ボタンを押します。

**Q Jabra PRO 9450 ヘッドセットの通話時間はどれくらいですか。**

A ワイドバンド通話で約 8 時間、ナローバンド通話で約 10 時間です。

**Q ヘッドバンド/イヤーフック/ネックバンドが壊れています。 新しいものを購入するにはどうすればよいですか。**

A 最寄の Jabra サプライヤーにご連絡ください。 購入時に必要な部品番号については、このマニュアルの別売アクセサリーのセクションを参照してください。

**Q ヘッドバンド/イヤーフック/ネックバンドが壊れています。 新しいものを購入するにはどうすればよいですか。**

A 最寄の Jabra サプライヤーにご連絡ください。 購入時に必要な部品番号については、このマニュアルの別売アクセサリーのセクションを参照してください。

**Q Jabra 製品には PCB （ポリ塩化ビフェニル）が含まれていますか、または PCB を使用していますか。**

A いいえ。 Jabra 製品には PCB は含まれず、また使用もされていません。

# 10. 技術仕様

## 10.1 JABRA PRO ヘッドセット

**動作環境：**
-10°C ～ +55°C （充電時は 0°C ～ +40°C）、相対湿度最高 95% で結露しないこと

**通話コントロール：**
通話の応答/終了、着信拒否、リダイヤル、保留中通話の切り替えに対応した多機能ボタン（ドッキング操作によって通話の応答/終了を行うこともできます）

**音量コントロールとマイクのミュート設定：**
ヘッドセットのタッチセンサーによる制御

**ランプ：**
マルチカラー LED で通話ステータス、バッテリー残量、ペアリングステータス、その他のイベントを示します

**オーディオインジケータ：**
着信、低バッテリー、音量、マイクのミュート状態などのイベントを示す音（ターゲット電話機は、英語の音声タグまたはターゲット専用メロディーによって識別できます）

**音質：**
DSP ノイズ低減、エコー除去、音域調整、ナローバンド/ワイドバンドオーディオ (電話機の種類ごとに選択可能)

**ファームウェアの更新：**
Jabra PRO ベースにドッキング時に USB インターフェイスから更新できます

**充電：**
Jabra PRO ベースにドッキングしている間

**PC ベースの設定：**
設定はすべて PC に保存したり、PC から読み込んだりできるため、バックアップと一括展開に役立ちます

**ワイヤレス標準：**
（CAT - iq）European DECT および U.S. DECT

**DECT 動作範囲：**
European DECT では、Jabra PRO ベースからヘッドセットは最大 150 m
U.S. DECT では、Jabra PRO ベースからヘッドセットは最大 135 m
Japan DECT では、Jabra PRO ベースからヘッドセットは、最大120m

**DECT 周波数：**
US DECT： 1.92 ～ 1.93 GHz
EU DECT： 1.88 ～ 1.90 GHz
Japan DECT： 1.893 ～ 1.906 GHz

## 10.2 JABRA PRO 9450 および JABRA PRO 9450 FLEX ヘッドセット

**装着スタイル：**
イヤーフックまたはヘッドバンド（ネックバンドは別売アクセサリー）

**スピーカー：**
ワイドバンドスピーカー

**マイク：**
ノイズキャンセリングマイク

## 10.3 JABRA PRO 9450 DUO ヘッドセット

**装着スタイル：**
ヘッドバンド

**スピーカー：**
2 （デュアルモノ）

**マイク：**
ノイズキャンセリングマイク

## 10.4 ヘッドセットのバッテリー

**バッテリータイプ：**
リチウムイオン

**バッテリー容量：**
315 mA/h、通常

**バッテリー連続通話時間：**
ナローバンドオーディオで最大 10 時間
ワイドバンドオーディオで最大 7 時間

**バッテリー寿命：**
500 充電サイクル以上 (1 日 8 時間使用で 3 年以上)

**バッテリー待機時間：**
最長 38 時間

**動作温度範囲：**
-10˚C 〜 +60˚C
**注意：** ヘッドセットには、極端な温度では（0˚ 〜 45˚C）バッテリーの充電を行わないようにする温度依存性充電アルゴリズムが採用されています。

**バッテリー充電時間：**
2 時間。

**保存寿命：**
充電が必要になるまでオフ状態で 6 カ月以上充電状態を維持

**交換:**
バッテリーの寿命は通常の使用で約 3 年間です。 ご注文については、最寄の Jabra 販売店にお問い合わせください
バッテリー交換キット。

## 10.5 JABRA PRO ベース

Jabra PRO 9450 ベースは次の仕様を満たします

**寸法:**
160mm x 94mm x 82mm

**ワイヤレス標準：**
(CAT-iq) European DECT、 U.S. DECT および Japan DECT

**DECT 動作範囲：**
European DECT では、Jabra PRO ベースからヘッドセットは最大 150 m
US DECT では、Jabra PRO ベースからヘッドセットは最大 135 m
Japan DECTでは、Jabra PRO ベースからヘッドセットは、最大120m

**動作環境：**
-10˚C 〜 +55˚C （充電時は 0˚C 〜 +40˚C）、相対湿度最高 95% で結露しないこと

**キーパッド機能：**
通話処理、一部のシステム設定

**充電クレードル：**
付属の Jabra PRO ヘッドセットを挿入でき、磁気継手が搭載されています。ヘッドセットのアップグレード時には容易に交換できます

**オーディオ：**
内蔵スピーカーが着信音を発し、キーパッド操作のオーディオフィードバックを鳴らします。

**オーディオ帯域幅：**
ナローバンドまたはワイドバンド

**デスクホン接続：**
受話器用 RJ-11、電話機本体用 RJ-11 (またはヘッドセットポート)、AUX 用 RJ-45 (電子フックスイッチまたは GN1000 ハンドセットリフター)

**発信音調節スイッチとマイク音量調整スイッチ：**
電気機械スイッチ。 発信音調節スイッチはインタラクティブセットアップウィザードを使用して手動で設定します。 マイク音量レベルはインタラクティブセットアップウィザードで決定され、自動的に設定されます。

**電子フックスイッチ標準：**
GN1000、Jabra IQ EHS、Cisco、DHSG、MSH。 それぞれに別売りの追加ケーブル/装置が必要です。サポートされるフックスイッチの種類は今後さらに増え、ファームウェアのアップグレードを通じて追加される可能性もあります。 GN1000 はデフォルトでサポートされ、追加の設定は必要ありません

**通話中ライトインジケータ：**
2.5mm ジャックコネクタ（別売アクセサリー）

**PC コネクタ：**
Micro USB

**ファームウェアの更新：**
PC からダウンロード可能

**PC ベースの設定：**
設定はすべて PC に保存したり、PC から読み込んだりできるため、バックアップと一括展開に役立ちます

**ソフトホンサポート：**
Skype、Microsoft Lync、Avaya、Cisco IP Communicator の通話処理を完全にサポート。その他のソフトホンでは、ヘッドセットは標準のサウンドカードとして認識されます。PC のドライバー更新を通じて、その他のソフトホンのサポートも追加できます。 最新の更新については、Web サイトで jabra.com/pcsuite を参照してください。

**盗難防止：**
ケンジントンセキュリティスロット規格

## 10.6 原材料とアレルギー

ヘッドバンドアタッチメントはステンレススチール製であり、ニッケルコート面はありません。 ヘッドバンドからのニッケル放出量は 1 週間当たり 0.02 μg/cm2 であり、EU 指令 94/27/EF に定められた 1 週間当たり 0.50 μg/cm2 の上限を下回っています。 ステンレススチール合金のニッケル放出量は、欧州規格 EN 1811:1998 に基づいてテストされています。

その他の装着スタイルアタッチメントはプラスチック製であり、確認されている限り一切のアレルゲンを含んでいません。 イヤークッションにはビニールが含まれていません。 ユーザーの肌と接触する可能性のある部分にはニッケル、クロム、天然ゴムは含まれていません。

## 10.7 製品の廃棄について

ヘッドセットを廃棄する際は地域の条例に従い、可能な場合はリサイクルしてください。 家庭ゴミとして捨てないでください。 バッテリーが爆発する可能性があるため、ヘッドセットを火中に投下したりしないでください。 また、バッテリーは損傷した場合も爆発する危険があります。

## 10.8 認定と安全規格

**CE**

この製品は、R & TTE Directive (99/5/EC) の規定に従って CE マークを取得しています。 GN はここに、本製品が指令 1999/5/EC の基本要件とその他の関連条項に適合していることを表明します。 詳細は、http://www.jabra.com を参照してください。

本機器は、オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、ポーランド、ポルトガル、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、オランダ、英国の EU 諸国、およびアイスランド、ノルウェー、スイスの EFTA 諸国での使用を前提として設計されています。

**FCC**

本機器は、FCC 規則第 15 条に準拠しています。 機器の操作は、以下の 2 つの条件の元に行うものとします。 (1) 本機器によって有害な電波障害を生じさせてはいけません。(2) 意図しない操作の原因となる電波障害も含め、受信したあらゆる電波障害を本機器で許容しなければなりません。

ユーザーが本機器に変更を加えることは、その方法を問わず一切禁止されています。 Jabra によって明示的に承認されていない変更または改造を加えた場合、機器を操作するためのユーザーの権限は無効になります。

本機器は、テストの結果、FCC 規則第 15 条に準ずるクラス B デジタル機器の制限への適合が認められています。 これらの制限は、本機器が居住地域に取り付けられたときに、有害な電波障害に対する適切な保護を提供するためのものです。 本機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、または放射します。製造元の指示に従わずに取り付け、使用した場合は、無線通信に対する有害な電波障害の原因となる可能性があります。 ただし、特定の方法で取り付けた場合でも、有害な電波障害が起こらないことが保証されるわけではありません。 本機器がラジオもしくはテレビの受信に有害な電波障害を及ぼしているかどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることによって確認できます。本機器が原因の場合は、次の方法をいくつか試して電波障害を解消してください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本機器と受信機の間隔を広げる。
- 本機器を受信機が接続されている回路とは別のコンセントに接続する。
- 販売元、または熟練したラジオ/テレビの技術者に問い合わせる。

電磁波放射に関する FCC の暴露基準に準拠するため、ベースは人体から 20 cm (8 インチ) 以上離れた場所に配置する必要があります。

**IC 通知 (カナダ)**

機器の操作は、以下の 2 つの条件の元に行うものとします。 (1) 本機器によって電波障害を生じさせてはいけません。(2) 本機器の意図しない操作の原因となる電波障害も含め、あらゆる電波障害を許容しなければなりません。 認定/登録番号の前の「IC:」という表記は、適合宣言書に基づいて登録が行われ、カナダ産業省の定める技術仕様が満たされていることを意味するだけであり、 カナダ産業省が本機器を承認したことを意味するものではありません。

**世界各地にて特許および意匠登録の出願中**

Jabra®

A BRAND BY

GN Netcom



中国製
機種： 9400HS/BS

32-00713 RevA

www.jabra.com